

園だより

4月号

令和4年4月7日
新宿区立西戸山幼稚園
園長 佐藤 淳穂



ご入園・ご進級 おめでとうございます

園長 佐藤 淳穂

春休みの園庭は一面、桜のはなびらで薄いピンク色の絨毯を敷き詰めたようになりました。どんぐりや柿の木にはみずみずしい新芽が光り、梨の木はたくさんの白い花を咲かせています。池ではオタマジャクシがかえり、カマキリの卵からは数十匹の赤ちゃんが出てきました。生命が動き出す春。西戸山幼稚園では、職員はもちろん園庭の仲間たちも総出で、入園・進級する子どもたちを迎える準備をしてきました。おめでとうございます！

さらに、新年度の準備として、園庭の土壌改良工事がありました。気温の低い日には凍った地面が太陽の光に照らされてぬかるむようになり（それはそれで子どもたちは楽しんでいたのですが）、大雨の日には沼のような水たまりができてしまうので、水はけをよくするために一部の土を入れ替えることとなったのです。

工事の当日は、小型トラックや小さなシャベルカーが園庭に入りました。トラックの荷台が斜めになったり、シャベルカーが土をかき出したりする様子には、大人げなく目が釘付けになりました。子どもたちがいたら、きっと「工事現場ごっこ」を始めたでしょう。園庭の地面の断面を見るとミルフィーユのように何層にもなっています。雨水が浸透しやすく、表面が乾きやすくなるように計算された構造や工事の作業工程の緻密さに感心して、見とれてしまいました。

そして、この工事のおかげで、思いがけないプレゼントがありました。掘り出された古い土を園庭の隅の築山に盛り足したことで、山の標高がずいぶんと高くなったのです。これまでの築山も子どもたちのお気に入りの場所で、代わる代わる上ったり下りたり、マットを敷いて基地や家にしたりして、いつもにぎわっていました。広がった頂上に上がってみると、「わあー」と思わず声が出ました。園庭を見晴らすことができる感覚になります。子どもたちが、この高さの違いをどんな風に感じ、反応するか、どんな新しい遊びを考えるのかとても楽しみです。

さあ、ワクワクする令和4年度のスタートです。子どもたちが豊かな体験をできるよう、教職員一同、努力してまいります。今年度も、保護者、地域、関係者の皆様のご理解、ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。